



YouTube が定める質の高いコンテンツの原則が子どもたちの創造性と好奇心を育む仕組み

最近の子どもたちは、オンラインで学び、交流し、自分のアイデンティティを見出しています。スクリーンを見ている時間が日常となった今、親や保護者、そして YouTube は、この時間を可能な限り魅力的で想像力を刺激するものにし、年齢に適した好奇心と探求心を満たしたいと考えています。

そのため、YouTube は 2021 年に子どもや家族向けコンテンツに関する品質原則を導入し、クリエイターを対象に子ども向けコンテンツ作成に関するガイダンスを示しました。この品質原則とおすすめシステムは、子どもや青少年にとって YouTube をより安全で充実した環境にするための取り組みの一環です。

「質の高い」コンテンツと「質の低い」コンテンツの定義

子どもの発達、新興メディア、デジタルウェルビーイングなどの分野の[専門家](#)が協力して策定された原則では、子どもの発達と幸福を促進するコンテンツを質の高いコンテンツ、コンテンツ作成において避けるべきテーマを扱ったコンテンツを質の低いコンテンツとしています。

簡単に言えば、質の高い「子ども向け」コンテンツとは、年齢にふさわしく、豊かな心を育み、魅力的で想像力を刺激するもの、つまり以下のトピックに関するコンテンツを促進する[ベストプラクティス](#)に沿っているものです。

質の高いコンテンツの基準



正しい行い



向学心と好奇心の刺激



創造性、遊び、想像力の育成



現実世界の問題との関わり



ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン

質の低い「子ども向け」コンテンツは、この原則で次のように定められています。

質の低いコンテンツの基準

過度に商業的または販売促進目的

ネガティブな行動や態度の奨励

教育的内容に見せかける

正しい理解の妨げとなる

扇情的、または誤解を招く

子ども向けキャラクターを不適切に使用している

The Net Safety Collaborative の創設者兼事務局長の Anne Collier 氏は、YouTube の品質原則の策定に関わった[専門家の一人](#)です。Collier 氏は、原則の策定が、子どもにとって何が豊かな心を育み、教育的であるかを定義するとともに、何が許容できないか、何が不適切であるかを線引きするプロセスだったと述べています。

「この原則により、保護者は子どもの社会情動的な健康と発達を、オンラインとオフラインの両方で最大限に高めることができます。これはコンテンツの利用や作成だけの問題でなく、子どもの生活の質、子供の成長に関わることなのです。」

Anne Collier

The Net Safety Collaborative の創設者兼執行役員

子どもや家族向けの質の高いコンテンツの促進

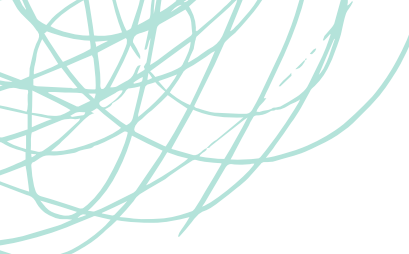
子どもや家族向けコンテンツに関する品質原則を 2021 年にリリースおよび適用して以降、品質原則を反映したコンテンツの YouTube Kids アプリでの視聴は 2023 年 9 月時点で 45% 以上の増加となりました。

「YouTube は、子どもや家族をサポートするという課題の解決に向けた取り組みにおいて、業界内で模範的な存在になっています」と、アムステルダム大学にある Amsterdam School of Communication Research の教授であり、YouTube の [青少年と家族に関するアドバイザリーボード](#) のメンバーでもある Jessica Piotrowski 博士は述べています。「若者によるデジタルメディア利用の専門家と協力し、構築するサービスに重要な分析情報を反映させることが、若者固有のニーズに対応するために有効なアプローチとなります。」

YouTube が、その原則の中心に子どもを据えたことがきっかけで、多くのクリエイターがコンテンツの品質改善に取り組み始めました。YouTube は、ワークショップやタウンホールミーティングで、子どもや家族向けの質の高いショート動画の制作をサポートし、UCLA Center for Scholars & Storytellers による [ベストプラクティスに関するヒントシート](#) などのリソースを共有しています。Center for Scholars & Storytellers を創設した Yalda T. Uhls 氏は、YouTube の青少年と家族に関するアドバイザリーボードのメンバーでもあります。

[Ryan's World](#) は、当初はおもちゃやゲームをレビューする子ども向けチャンネルでしたが、YouTube の専門家とともに策定した品質原則に沿って動画のラインアップを見直し、科学実験やその他の教育的コンテンツを増やしました。

Ryan's World のプロデューサーである Shion Kaji 氏は次のように説明します。「視聴者の増加に伴い、チャンネルで違うことも試し、楽しくて勉強にもなるコンテンツを子ども向けに提供したいと考えました。YouTube とのパートナーシップと品質原則の導入を通じて、子どもを対象とする独創的なスキット、科学実験、学習アクティビティの制作へと重点を移しました。このような変化にもかかわらず、チャンネルの視聴者は増え続け、今は 3,300 万人を超えるチャンネル登録者に、豊かな心を育むコンテンツを提供できることを誇りに思っています。」



YouTube が専門家による分析情報をクリエイターに提供し始めたところ、クリエイターは子どもの利益になるコンテンツ制作を捉え直すようになりました。たとえば [TotoyKids](#) は、UNICEF とのパートナーシップにより、ストーリー主体のオリジナル アニメーションに転換し、チャンネルのコンテンツが国際的な賞を受賞しました。また、コンテンツを他のプラットフォームや映画館にも配給し、サステナブルな方法でのチャンネルの成長につなげています。制作した番組は、[Netflix で視聴の多かった子ども向け番組トップ 10](#) に入りました。



子どもと家族向けの取り組み

子どもたちの安全を守るだけでは十分ではありません。私たちは、クリエイターのコミュニティから生まれる楽しく元気が出るコンテンツにより、子どもや家族の YouTube での体験を、成長、学び、探求心、豊かさで満たしたいと考えています。今後も、質の高いコンテンツを促進し、品質原則をさらに拡充させ、クリエイターや家族の皆様と協力する新たな方法を追求していきます。